

にけーしよん

2/25 縄文料理を食べてみよう!こども縄文体験学習

発見から120年を迎える平城貝塚について、子ども達に興味を持ってもらおうと東海公民館中玉分館で「こども縄文体験学習」を開催しました。

参加した子ども達は、県埋蔵文化財調査センターの多田 仁主任調査員を講師に愛南町に多く分布する頁岩(けつがん)から石器の製作方法を学習、作ったばかりの石器を使ってマダイや鶏肉で切れ味を試してみました。また、近くの海岸から運んできた石を熱してイノシシや鹿の肉を焼く石焼料理やレプリカの縄文式土器を使って煮込んだ縄文汁など、4,000年前の「縄文の食」を味わいました。



石器で調理

石焼料理

縄文汁



2/26 伊予銀行賞受賞! ふるさとCM大賞えひめ

松山市総合コミュニティセンターで、県内20市町23作品がエントリーした愛媛朝日テレビ主催「ふるさとCM大賞えひめ'12」(30秒のわが町自慢CM)公開審査会が行われ、本町から出品した愛南リポーターズの「ふるさとをつなぐ」が、第5位にあたる伊予銀行賞を受賞しました。

ふるさとを守り次代につなぐ決意を新たに一歩踏み出そうとする一人の青年の姿を描いた作品です。

なお、副賞として4月から半年間に40回、このCMが無料で放送されます。愛南町の名を強くPRしてくれるものと期待します。



本日!海日和!! 「完璧なマイホーム」

瀬ノ浜の砂地には、肉まんのような形をしたラツパウニが住んでいます。ウニですから全身トゲだらけですが、たまに帯状に剃り込みの入った不思議な姿をしたものがあります。剃り込みを入れた犯人は、ゼブラガニです。ゼブラ(シマウマ)のような模様があるので、この名前が付いています。ウニのトゲを上から下までハサミで刈り取り、ちょうど体が入る広さの道を作ります。刈り取ったトゲは食べてしまうそうです。そこを上へ行ったり、下へ行ったりしながら生活しています。食事の付いた安全なマイホームですが、ラツパウニは、とっても迷惑でしょうね。



(ゼブラガニ 瀬ノ浜 水深12m 2010.8.1)

環境省自然公園指導員 西尾知照

愛南こみゆ

2/16 お母さんにプレゼント!中浦小学校パールアクセサリー教室



中浦小学校6年生8名が卒業記念として自分たちが作った真珠アクセサリーをお母さんにプレゼントしようと企画。講師にほっと計画委員会の中村千賀子さんを招き、アートクレイ(銀粘土)と真珠を使ったアクセサリー作りに挑戦しました。

児童たちは、「難しかったけど素敵なアクセサリーができてうれしかった。お母さんの喜ぶ顔が見たい」と感想を述べていました。

2/19 愛南コーラスフェスティバル



平城小学校音楽部



コーラス ラ・ラ・ラ



リーフレット



あんだんて



愛南町少年少女合唱団



合唱団コスモス

御荘文化センターで、「愛南コーラスフェスティバル(主催 合唱団コスモス)」が開催され、町内から合唱団コスモスをはじめ、平城小学校音楽部、愛南町少年少女合唱団など6団体、町外からは宇和島少年少女合唱団など3団体の計9団体約300名が出演し、それぞれ自慢のハーモニーを披露しました。最後に会場全体で「ふるさと」を合唱して締めくくりました。

2/19~3/10 愛南町でスポーツ合宿を!

同志社大学硬式野球部(88名 2/19~2/28)、京都大学準硬式野球部(41名 2/28~3/4)、摂南大学硬式野球部(30名 3/5~3/10)の3団体が、スポーツ合宿として愛南町を訪れ、南レク城辺球場などで練習に汗を流しました。それぞれ清水町長が表敬訪問し、町特産品をプレゼントしました。



2/19 同志社大学硬式野球部



3/2 京都大学準硬式野球部



3/7 摂南大学硬式野球部

愛南町では、宇和島市と合同でスポーツ施設や文化施設の利活用をめざした「合宿誘致事業」を実施しています。詳しくは、商工観光課(TEL 72 - 7315)まで問合せください。